



## 不発弾 未明に処理

### 来月7日、那覇市旭町



那覇市旭町の国場川浚渫工事現場内で、2月に見つけた米国防5インチ艦砲弾1発の不発弾処理作業が7月7日午前3時から4時に行われる。県防災危機管理課などによると、市街地での不発弾処理が未明に行われるのは珍しい。

県によると、民間地での未明から早朝にかけての不発弾処理は、宮古島市で2009年と11年にかけて以来。うち09年の処理の際は住民避難も伴った。09年には自衛隊那覇基地と那覇空港内で避難者なしの不発弾処理があったという。

午前2時40分から避難を開始し、同2時55分から避難対象地域の交通を規制する。避難区域は半径154m以内で、避難対象は24事業所、約50人。

那覇市によると同時時間帯に不発弾処理を行うのは①不発弾が水中にあり、干潮時にしか作業ができない②沖縄都市モノレール(ゆいレール)の運行に影響しない③避難対象地域に居住者がおらず、住民の負担にならない—の三つが理由だ。